

新居浜市「みどりのまちづくり事業」について

新居浜市都市整備部都市計画課 正会員 ○合田 隆充
 新居浜市都市整備部都市計画課 正会員 曾我 忠
 新居浜市都市整備部都市計画課 正会員 神野 幸彦

1. はじめに

新居浜市は、元禄4年の別子銅山の開坑以来逐年繁栄し、住友系企業を中心に四国有数の工業都市として生成発展してきた。

本市においては、今後21世紀に向けて国際化、高齢化、高度情報化等の新たな社会経済環境に即応した都市を創造するため、平成2年度を初年度とする第三次新居浜市長期総合計画を策定し、「潤いと活力にみちた産業・文化創造都市」の構築を目指している。

2. みどりのまちづくり事業

今日、全国各地においては、地域のもつ特性や独自性を再評価し、個性的で魅力あるまちづくりが活発化している。こうした動きは、それぞれの地域で固有の歴史や伝統、文化に根ざしたゆとりと潤いのあるまちづくりを目指して行政と住民とが一体となって行われているものである。このような状況の中で、まちづくりに当たって大きな役割を果たす社会資本の整備についても、いわば量的な整備水準の充足にとどまらず、地域に潤いを与え、地域の魅力を創出するような質的な面での向上が強く求められている。

新居浜市においては、昭和62年の市政施行50周年を期に、「緑化元年」と位置づけ、快適な生活を営んでいくため、「みどり」を総合的にとらえ、景観、歴史、伝統、文化等を生かした個性あふれるまちづくりを推進するため、「みどりのまちづくり事業」に取り組んでおり、(Ⅰ)貴重なみどりの保全、(Ⅱ)市街地のみどりの創出、(Ⅲ)緑化活動の育成、(Ⅳ)美しい景観の形成の4つを基本的課題として掲げている。本事例では、みどりのまちづくり事業の内、市民の生活環境を豊かにし、潤いのある文化的風土を創出するための手段として、通勤、通学、買い物等の人通りの多い場所を快適な憩いの場として整備した、ポケットパークについて報告するものである。

3. ポケットパーク整備事業

3-1. 位置づけ

「銅の道」…… 本市の南北基幹道路である楠中央通りは、かつて銅山峰から新居浜口屋まで銅が運搬された道に隣接、交差しながら同方向に走っているため「銅の道」と定めた。

「平和の道」…… 「銅の道」と直交する、本市の東西の基幹道路の平和通りを「平和の道」と位置づけた。

3-2. 整備理念

「銅の道」…… あかがねの里である新居浜を象徴する銅の道については銅を主体とする金属系の素材を用いることとした。

「平和の道」…… 「銅の道」をクローズアップするため、「平和の道」については、非金属系の素材を用いることとした。

3-3. 整備方針

- ①道路の残地部分等を活用した整備
- ②地元彫刻家の採用

③新居浜市の歴史、文化、伝統をテーマにした彫刻

3-4. 整備事例

彫刻の設置については、銅の道と平和の道が交わる場所を原点として、ここから始めている。また、「銅の道」、「平和の道」とともに、どの作品にも、別子銅山開坑という自然の恵み、別子の山々のうねり、工都のエネルギー等を表現している。

〈銅の道〉

『犬の見た夢・別子』、『リズム&ハーモニー』、『女の子・二人』、『陽の中で』、『夢はるか』、『青春譜』、『長衣の女』、『風』

〈平和の道〉

『自然の恵みに』、『SWELL』、『萌いずる』、『め（慧眼）』

4. おわりに

市民が求める快適な都市空間は、

- ①都市基盤が整備された機能性の高い都市
 - ②優れた景観や文化性をも備えた質の高い都市
 - ③生活者の身の回りの利便性の高い都市
- であることが求められ、今後のまちづくりには、
- ①地域の生活者の精神的、情緒的要請にも対応する多義性を備えたゆとり空間の創造
 - ②自然や周囲の環境と調和した街並み等美しい景観の尊重
 - ③人々の個性や人生の選択の幅を広げる選択機会の拡大
 - ④ノーマライゼーションの考え方や異なる文化、考え方を認めあう多様な人々・価値の受容
 - ⑤地域環境やアメニティーの向上等環境への配慮が重要となっている。

来るべき高齢社会、人口減少社会を、真に豊かな成熟社会にするためには、市民が新居浜に住んで誇りと生きがいをもって充実した生活を送ることができる活力あるまちづくり、環境や景観、文化、福祉等を内在化させた美しいまちづくりが我々に課された責務であると考えます。



『自然の恵みに』



『犬の見た夢・別子』

別子銅山の採掘及び運搬をテーマとし、別子開坑300年という歴史的背景を含んだ彫刻